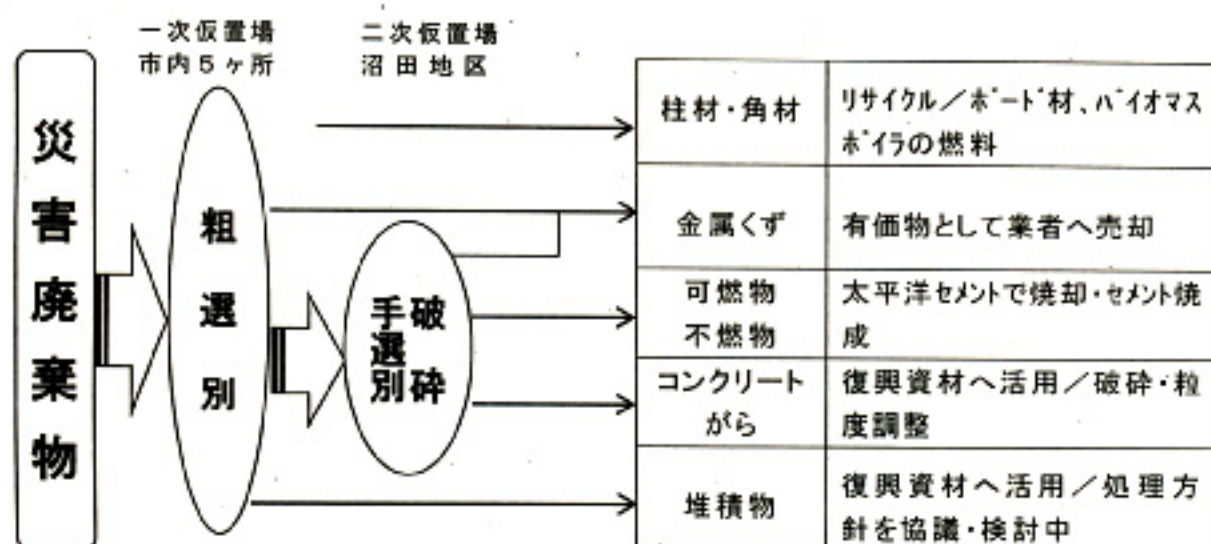


## 陸前高田市における災害廃棄物の処理について

### 1 災害廃棄物処理の基本的考え方

市内で発生した災害廃棄物を安全かつ迅速に処理するため、解体・撤去の段階から分別を徹底するとともに、一次仮置場における粗選別、二次仮置場における手選別と破碎を実施したうえで、焼却等については太平洋セメント大船渡工場を中心とした処理を進めている。



### 2 災害廃棄物発生量・処理量

(受託業者調べ H24.4 時点)

	発生量(t)	処理量(t)	残量(t)	処理方法	処理に要する期間	備考
柱材・角材	43,873	0	43,873	リサイクル	340日	本年度中に処理開始予定
金属くず	47,156	10,571	36,585	売却	610日	
コンクリートがら	483,275	56,468	426,807	リサイクル		再生骨材
可燃物	191,762	21,132	170,630	太平洋セメントで焼却・焼成	570日	日処理量(可燃300t 不燃100t)
不燃物	220,000	10,875	209,125		2,100日	
堆積物	516,113	148	515,965	協議・検討中		
その他	2,224	6,428	-4,204	沿岸南部クリーンセンター焼却業者処理	170日	発生量に漁網・漁具を含めていないため、残量が負表示
合計	1,504,403	105,622	1,398,781	—	—	

※発生量に公物解体分 90,000 を含まない。